



「私ね・・・、一日で良いから子供が先に逝ってくれる事を望んでいるんです・・・。」その一言がきっかけで、自分なりに出来る障がい者支援に取組みました。「何もしない善人」よりも「動く偽善者」で良いと思っています。

こう語るのはプレジャーサポート株式会社の町代表取締役。そして障がい者の方々が経済的自立できる仕組みと、自発的いきがいの創出を目的として立ち上げたのが、社会貢献型商品ブランド『ソーシャルズ』。

福祉施設と企業が連携して開発したオリジナル商品群で、スイーツ、食品、雑貨類を展開。福祉施設より商品を買って、作業所の在庫リスクを軽減し、更に仕入れの 5%を作り手である障がい者を持つ方々の自立を支援するために還元するシステムを構築。ソーシャル・スイーツ・プロジェクト商品のひとつ『にじいろラスク』をご紹介します。ひとくちサイズ（一辺 1 cm ちよつと位）の食べやすいキューブ型ラスクで、味はリッチキャラメル・マイルドキャラメル・プリン・カフェカプチーノ・うめかつお・マスタードマヨ、現在 6 種類。

ラスクを試食。スイーツ系の「プリンラスク」は、ほんのリブリにしっかりキャラメル味。そして試作中のおつまみ系「チーズラスク」は、濃厚なチーズ味。おいしい!ビールにぴったり! 全体的にしっかりスイーツ味に、濃厚なおつまみ味。



商品の販売先や通販での購入等詳しくは
ソーシャルスイーツ専用サイトとインター
ネットショッピングモール「@mall (アットモール)」をご覧ください。

<http://social-sweets.jp/>
<http://www.atmall.ne.jp/pleasure/>



「難しいのは作業所の確保と対応、それに多品種少量生産によるコスト調整。パッケージも少量生産なのでコスト高。用途やターゲットによってデザインを変えたいが、中小企業の悲哀、思う物がなかなかできない。

福祉施設の作業所営業に関わる労力を代行し、季節によって受注の変動の多いギフト商品を安定した収入が上がるようにしていく。そして福祉施設のケアに集中してもらう事がねらい。その為には商品の制作工程やパッケージの工夫をして生産性を上げ、販売チャンネルを増やす事が必要。

今まではイベント会場、ホテル、美容室等でスペースを借り、出展や委託の販売が多かったが、ショッピングモールでの家賃を払いアルバイトを雇っての販売実績を検証し、そのノウハウを生かし、自分たちの販売店を増やしていく事を中長期的に計画中。

現在、味噌を使った新しい商品に取り組んでいる。これは昨秋の「こうせい『食』のビジネスマッチング展 2011」での出会いがきっかけとなっている。

今秋はこの商品を目玉に出展したいと意気盛ん。

障がい者とその家族にとっては、「仕事をして、お給料をもらう」ということは長い間の『夢』だったが、『ソーシャルズ』は彼らの『夢』を実現に近づけるもの。本当の意味での「自立」と「生きがい」を求めて、これからも社会貢献に力を注いでいく事が目標。



町代表取締役(右)と瀬尾マネージャー

会社 DATA

プレジャーサポート 株式会社

代表取締役 町 孝幸

<http://www.pl-support.jp>

<http://social-sweets.jp>

E-mail : info@pl-support.jp

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町 2 丁目 1 番 7 号

本町和光ビル 9F

TEL : 06-6266-5771 ・ FAX : 06-6266-5772

■ 事業概要

コンサルティング・ソリューション、プレジャーサポート